

多文化共生・グローバルキャンパスの実現に向けた 豊橋技術科学大学 国際戦略 2014-2015

Toyohashi University of Technology, Global Strategy 2014-2015

はじめに

技術を支える科学の探究によって、新たな技術を開発する学問、技術科学の教育・研究を使命とする豊橋技術科学大学は、豊かな人間性と国際的な視野および自然と共生する心を持つ実践的、創造的かつ指導的技術者、国際社会で活躍する人材を育成し、次の時代を拓く先端的技术の研究を行ってきた。

しかしながら、経済・社会のグローバル化が加速度的に進む中で、建学の理念である実践的創造的かつ指導的技術者の育成は、時代の変化に対応して見直す必要がある。

すなわち、最先端の研究開発能力のみならず、国際感覚を備えてグローバルに活躍できる工学系人材を育成するとともに、産業を牽引する研究分野において世界をリードしていくことが教育・研究に求められている。

そのためには、国籍・性別を問わない多文化共生・グローバルキャンパスを有する大学の実現が不可欠であるとともに、構成員の個別努力のみに依るのではなく大学組織としての取り組みが重要であることを理解して、この国際戦略を策定する。

現状認識

目まぐるしく変化する技術開発競争の中で、高い技術力のみならず、多様なニーズと文化・価値観を持つ人々の中で活躍する人材の育成が、大学に強く求められている。

技術・産業の水平連結が進み、研究開発・設計・生産を、国境を越えたチームで行う時代となっている。部下も上司も同僚もクライアントも日本人に限定されない環境で、グローバルな課題を発見し、分析・解決するための俯瞰的な構想・設計力を有し、具体的なものづくりを主導できる高い技術力と科学的素養に裏付けられた上級技術者・研究者を育成しなければ、日本の技術そのものが衰退するおそれがある。

先進国のゆらぎと、新興国の台頭の中で、両者の関係は、これまでの片務的な国際協力ではなくなっている。パートナーとしての互惠関係に基づき外国人留学生を出身国の発展に貢献する人材として教育することはもとより、優秀な外国人に我が国産業

の発展と社会の国際化に貢献できる人材として活躍してもらうことが必要である。

大学のもう一つの使命としての研究活動においては、新たな価値の創造、地球規模の社会的課題解決などへの関心から、融合研究を軸に、世界トップレベルを目指すことが求められる。そのために、研究者の多様化・多国籍化を進め、発想の多様性を向上させる必要がある。

豊橋技術科学大学のグローバル化にあたっての基本理念（MISSION）

豊橋技術科学大学は、技術を支える科学の探究によって、新たな技術を開発する学問、技術科学の教育・研究を使命とする。この使命のもと、世界に開かれたトップクラスの工科系大学を目指し、豊かな人間性と国際的視野および自然と共生する心を持つ実践的創造的かつ指導的技術者を育成するとともに、次の時代を拓く先端技術の研究を行う。そのため、大学院に重点を置き、透徹した物を見る眼、繊細で温かみのある感性、多元的な思考能力、グローバルな視野を培う教育を推進し、技術科学の新しい地平を切り拓くことを目指して研究に取り組む。さらに、地域社会とも連携し、国内及び国際社会に開かれた技術科学の拠点となることを目指す。

これに基づき、以下を豊橋技術科学大学のグローバル化推進の基本理念とする。

- グローバルに活躍できる指導力ある技術者を育成する。
- すぐれた研究成果で世界の技術科学を発展させる。
- 人材育成と研究成果を活かして、世界の問題解決に貢献する。

基本目標（VISION）

上記の理念を実現するための具体的な基本目標を以下とする。

1. 教育

グローバルな課題を発見し、分析・解決するための俯瞰的な構想・設計力を有し、具体的なもの作りを主導できる高い技術力と科学的素養に裏付けられた、以下の能力を備える上級技術者を育成する。

- グローバルコミュニケーション能力。
- 多様な価値観のもとでの課題解決能力。
- 世界に通用する人間力。

2. 研究

研究者の多様化・多国籍化を進め、発想の多様性を向上させるとともに、グローバルな発信力を強化する。これらにより、以下の研究分野を中心とし、世界トップレベルの研究を推進する。

- 電気・電子工学や情報学を基盤とした「先端融合研究創成分野」。
- 機械工学や材料工学などの基幹産業を支える「実践的技術分野」。
- 生命・環境工学や、建築・都市システム学などの「先導的研究分野」。

3. 国際貢献

平和で豊かな社会を実現しようとする国際社会の課題解決に対し、世界トップレベルの研究と教育システムおよび、これを通じて輩出した人材を活かした国際貢献を進める。

- 工学分野における高等教育の高度化、産学連携活動の促進、及び地球規模課題の解決等の諸領域を中心に、研究成果の社会実装をグローバルに展開する。
- 各国政府機関、大学等の関係機関、及び当該国の市民社会での豊橋技術科学大学の認知度を高め、更に相互理解の促進と関係強化を図る。

10 年後の豊橋技術科学大学のあるべき姿

以下に示す多文化共生・グローバルキャンパスを有する大学を実現する。

- 高専生を中心とした日本の若者と、世界の若者を受入れ、技術科学で次の時代を切り拓きグローバルに活躍できる上級技術者を養成する大学院教育に重点をおいた大学。
- 言語・文化にとらわれない工学教育と最先端研究を全学に展開し、学生・教職員すべてがグローバル化を推進している、国際通用力の高い大学。
- 世界トップクラスの教育・研究を行う、国際的に認知されている大学。
- 数値目標としては、外国人留学生比率 25%、留学経験大学院生 20%、外国人教員等 20%、海外勤務経験職員 30%、外国語力基準(教員においては TOEIC 730 点、大学院生・職員においては同 600 点)を満たす大学院生 70%、教員 50%、職員 30%を達成し、我が国の社会のグローバル化を牽引する大学。

具体的な施策（STRATEGY）

1. 教育

国際社会で活躍するグローバル技術科学アーキテクトを育成し、キャンパス全体をグローバル化するために、以下の施策を行う。

- 「グローバル技術科学アーキテクト」養成コースを新設し、グローバルに活躍する技術者の規範（ロールモデル）となる上級技術者を育てる。当該コースの設置を通じて、下記の全学的なグローバル化を促進し、国際通用力の高い大学へと進化させる。
 - ・ 全学開講講義のバイリンガル化
 - ・ 学生の多様化・多国籍化の増進
 - ・ 日本人学生の英語力、留学生の日本語コミュニケーション力の強化
 - ・ 海外インターンシップ、サマースクール等、言語・文化を超えた課題発見・解決能力開発教育プログラムの開発
- 多文化共生・グローバルキャンパスの核としてグローバル宿舍を新設し、学生の全人格的な人間形成を行う。
- 海外教育拠点（ペナン校等）を戦略的に活用して、有為な学生の獲得とグローバル教育の効果最大化を図る。
- 重点交流校との単位互換、ジョイント・ディグリー、ダブル・ディグリー制度を増進する。また、シラバスの英語化、ナンバリング、GPA など、教務システムのグローバル化対応を進め、学生・教員の国際流動性を高める。
- 入試改革を推進し、優秀で多様な学生を国内外から獲得する。
- 留学生の奨学金、日本語教育、日本人学生との交流等の生活支援や、学業および研究から就職等のキャリア支援を充実・強化し、留学生の受入れを拡大する。
- クォーター制や早期修了を活用して柔軟・多様なアカデミックパスを実現し、グローバル社会での卒業生の活躍の場を広げる。
- 高専との連携を一層強化し、豊橋技術科学大学と高専との連続教育のグローバル化を推進する。
- 教職員の英語コミュニケーション能力を向上させ、国際水準の工学教育を英語でも実施する。
- 海外同窓生の交流、海外同窓会組織の強化を行い、優秀な学生の獲得から、

教育の実践、卒業後のキャリア支援に至る、豊橋技術科学大学のグローバル化推進の成果を最大化する。

2. 研究

世界トップレベルの技術科学の研究・開発を維持発展させるために以下の施策を行う。

- Web of Science 等のデータベースを活用して、研究分野ごとに海外のどの大学・研究機関等（企業も含め）がトップレベルの研究を行っているのか（研究のベンチマーク）を継続的に調査し、研究力強化につなげる。
- アジア諸国の大学・研究機関等との間で、引き続き積極的な共同研究や研究者交流を行うとともに、欧米諸国のトップレベル大学・研究機関等に対してもこれまで以上に積極的に共同研究や研究者交流を図る。これらの交流を大学間交流協定の締結につなげる。
- 若手を中心とした研究者を、積極的に海外のトップレベル大学・研究機関に派遣する。
- 外国人研究者の採用、短・長期受入などにより研究人材の国際化を推進する。
- 国際共同研究の促進により国際共著論文の増加を目指す。
- 海外のトップレベルの大学、研究機関等との国際共同研究や研究者交流につなぐきっかけとなるよう、国際会議の開催を促進する。

3. 国際貢献

国際社会の課題解決に貢献するために、以下の施策を行う。

- 国際社会の課題解決に貢献するための諸事業の形成に上流から関与し、最適な事業化を図る。
- 国際貢献活動を通じて構築した国内外の政府関係機関・産業界・大学等とのネットワークを発展させ、豊橋技術科学大学の研究・教育活動にもフィードバックする。

4. その他

- 事務職員を含めた豊橋技術科学大学全ての人的資源のグローバル循環を定常化させ、キャンパスの多国籍化と国際通用力の強化をすすめ、新しい大学環境を創出する。
- 教育・研究・国際貢献に関する情報の徹底した公開と多言語化を進め、効果的な広報を展開することにより、豊橋技術科学大学の世界的なプレゼン

スを高め、教育、研究の好循環を図る。

- 多文化共生・グローバルキャンパスの実現のために必要な生活インフラを整備するとともに、多文化間の相互理解を深めるための活動を進める。
- 学生、教職員のグローバル活動にかかる危機管理体制を整備・強化する。
- 国際戦略にもとづく施策を推進するために、組織的な国際連携活動を行う。
- 国際戦略の推進に当たっては、日本学術振興会、科学技術振興機構、国際協力機構などの国際事業も積極的に活用する。

以上

制定： 2015 年（平成 27 年） 3 月 2 3 日